No.163

県議会とちぎ

〒320-8501　宇都宮市塙田1-1-20　TEL 028-623-3772　FAX 028-623-3755
E-mail　gikai-seisaku@pref.tochigi.lg.jp　HP アドレス　https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/
議案など各記事の詳細については県議会 HP をご確認ください。



▲6月6日にマロニエプラザで開催された「第21回食育推進全国大会inとちぎ」開会式の様子(中央が関谷暢之議長)

第414回通常会議(令和8年6月2日～6月22日)

一般会計補正予算、一時保護委託者の登録等に関する基準を定める条例の制定など20議案を可決

可決された主な議案と概要

●は知事提出議案です。　●は議員提出議案です。

●令和8年度栃木県一般会計補正予算(第1号)

新県立病院の基本構想の策定に要する経費を計上したほか、5月1日及び2日の突風による農作物等の被害に対して栃木県農漁業災害対策特別措置条例を適用したことに伴う債務負担行為の追加等を行うこととしました。

●令和8年度栃木県一般会計補正予算(第2号)

国が行う電気・ガス料金の支援に呼応し、LPガスを使用する一般家庭等や特別高圧で受電する中小企業者等への支援を行うこととしました。

●一時保護委託者の登録等に関する基準を定める条例の制定について

児童福祉法の一部改正に伴い、一時保護委託者の登録等に関する基準を定めるため、新たに条例を制定することとしました。

●議員派遣について

◎県議会の役割等について理解を深め、関心を高めてもらうことを目的とした「～とちぎの未来を考える～栃木県議会県政ミーティング」に議員を派遣することとしました。

◎地方議会で更に女性が活躍しやすい環境整備につなげるとともに、大会参加を通じて女性議員間の一層の連携を深めることを目的とした女性議員研究交流大会に議員を派遣することとしました。

可決された意見書と概要

●「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産への2030年登録に向けた「温泉文化」の保護・継承等への支援及び発信を求める意見書

「温泉文化」の保護・継承に資する活動に対して支援を行うこと等を国に要望することとしました。

●全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書

ヤングケアラーに限らず、全てのケアラーを対象とした包括的な支援の基本理念を明確にすること等を国に要望することとしました。

●エネルギー及び重要物資の供給の不安定化並びに物価高騰への対策を求める意見書

現下の情勢を踏まえ、地域の生活と経済を守るため更なる対策を講じることを国に要望することとしました。

●自衛官の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書

自衛官の給与や手当、生活・勤務環境、福利厚生等を含む処遇の更なる改善を図ること等を国に要望することとしました。


▲第414回通常会議(6月22日)採決の様子

請願・陳情

所管常任委員会の審査を経て、陳情2件が不採択、1件が継続審査となりました。



とちまるくんのなるほど! 県議会 ～主権者教育の取組について～

今回は、県議会も主体となり、知事部局や教育委員会、選挙管理委員会などと連携して実施する主権者教育の取組を紹介します。

～とちぎの未来を考える～栃木県議会 県政ミーティング


▲宇都宮女子高等学校での開催の様子


▲宇都宮東高等学校での開催の様子

とちぎの未来を担う子どもたちに県議会に対する関心を深めてもらえるよう、令和5(2023)年度から実施しています。

議長・副議長を含む県議会議員が学校を訪問し、県議会の役割・取組の紹介や生徒との意見交換などを行っています。

終了後に行ったアンケートの結果では、おおむね7～9割の生徒が「県議会や議員を身近に感じるようになった」と回答しています。

高校生等の本会議傍聴の受入れ

学校の授業やゼミなどの一環として、高校生や大学生等の本会議の質疑・質問の傍聴を受け入れています。

傍聴した生徒からは、「地方の課題などをより自分事として捉えることができた」などの感想がありました。

傍聴の後は、生徒や学生の希望に応じて、議長・副議長との意見交換や、議事堂の見学、議会事務局による座学なども行っています。【実際の受入れの様子は、3面を御覧ください。】


▲本会議傍聴の様子


▲議事堂見学の様子

選挙管理委員会との連携による学校訪問

県選挙管理委員会では、「私たちの暮らしの中の選挙」をテーマとして、中学生や高校生、大学生を対象に出前講座を行っています。

出前講座では、大学生等講師による講演や投票箱を用いた模擬投票を行っています。

令和7(2025)年度からは議会事務局も同行し、開催を支援するほか、県議会の紹介を行っています。



▲大学生講師による講演の様子


▲模擬投票の様子

とちぎ未来提案実現事業



県では、こども・若者の自由な発想を県の取組に反映させることで、多様化・複雑化する課題の解決を図ることを目的に、令和8(2026)年度からとちぎ未来提案実現事業を実施します。

「未来に希望を持てる栃木県」をテーマに募集・審査したこども・若者からの提案について、9月19日(土)に発表会・審査会・表彰式を本会議場で開催する予定であり、県議会からも議長・副議長が審査員として参加します。

当日の様子は、次号でお伝えします。


▲関谷 暢之議長

令和5(2023)年4月の地方自治法の改正により、地方議会の役割及び議員の職務等が明確化されました。

県議会では、児童、生徒、学生に民主主義や地方自治の重要性を感じてもらえるよう、積極的に学校現場に出向くなど、議会が主体となる主権者教育の推進に努めていきます。

編集・発行　栃木県議会

《第414回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容》

代表質問 (6/4)



つぶら　あきひと
螺良　昭人
（とちぎ自民党）
[宇都宮市･上三川町]

○中東情勢を契機とした有事への対応

問 **世界情勢の変化による影響は地域の経済・生活に直結しており、生じ得る混乱や危機を最小化できるよう備えておくことが重要であることから、有事を前提とした県政運営が必要と考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。**

答 【知事】県では、様々な危機事象に備え、危機管理対応に万全を期してきたところであり、今後とも、世界情勢により生じる有事の際には、事象に応じた適切な庁内体制を整え、各分野における影響の迅速な把握に努めるとともに、国や市町、企業等と緊密に連携を図りながら必要な対策を講じるなど、安定した県民生活の確保と地域経済の持続的な発展に向け、全庁一丸となって取り組んでいきます。

○競輪場通りの整備

問 **競輪場通りは、県民の経済や生活を支える重要な路線ですが、朝夕を中心に著しい渋滞が発生しており、その解消は喫緊の課題であることから、競輪場通りの整備について、現在の取組状況と、今後の見通しを伺います。**

答 【県土整備部長】競輪場通りについては、主要交差点を中心に慢性的な交通渋滞が発生しており、安全で円滑な交通の確保が課題となっていることから、県と宇都宮市が役割分担の上、道路拡幅を進めることとしており、路線測量や道路詳細設計等を実施しているところです。

今後は、道路計画について地元への説明や都市計画変更の手続を実施するなど、宇都宮市と連携を図りながら、早期事業化に向けて取り組んでいきます。

このほか

地域未来戦略の推進、県産農産物の輸出拡大など

一般質問 (6/4)



わたなべ　のりよし
渡邉　典喜
（民主市民）
[宇都宮市･上三川町]

○県内における持続的な賃上げの促進

問 **賃上げに取り組む企業への支援を一過性のものとすることなく、企業が持続的に賃上げできる経営環境の整備へとつなげていくことが重要と考えますが、県内企業における持続的な賃上げを今後どのように促進していくのか伺います。**

答 【知事】５％以上の賃上げ等に取り組む企業への1社当たり最大110万円の支援金の支給や生産性向上のための設備投資等の促進に取り組むほか、事業者に身近な商工団体と連携し、賃上げに関する意識付け等に向けた中小企業診断士による伴走支援などを実施し、企業の賃上げ環境の整備をきめ細かく支援していきます。

○災害時におけるペットの同行避難の体制整備

問 **ペットがいることで県民が避難をためらうことのないよう、ペットの同行避難を明確にイメージできる周知が必要と考えますが、県内市町におけるペット同行避難※1の避難所ごとの具体的な受入方法やルールの明確化、住民への周知も含め、実効性ある体制整備をどのように進めていくのか伺います。**

答 【危機管理防災局長】避難所のペットの受入れには考慮すべき点が多いことから、具体的な検討が進んでおらず、住民への周知も十分図られていない状況を踏まえ、市町に対し、ペット同行避難を盛り込んだ避難所設置研修を行うとともに、ペット防災に関するＳＮＳ発信など、様々な機会を捉えて県民理解を促進していきます。

このほか

ＰＦＩ事業の効果検証、県立高校入学者選抜制度の見直しと受検上の配慮など

一般質問 (6/4)



しおだ
塩田　ひとし
（県民）
[足利市]

○均衡ある県土の発展

問 **宇都宮市では、美術館や図書館等の再整備をはじめ、多数の大型プロジェクトが進められていますが、この状況は、均衡ある県土の発展につながっていないと言わざるを得ません。**

均衡ある県土の発展に向け、各地区の特性を生かした地域づくりに今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】県土の均衡ある発展に向け、新とちぎ未来創造プランに位置付けた各地域が抱える課題について、住民生活に最も身近な市町が地域の実情に即した施策を展開できるよう意見を伺いながら議論を深め、市町の枠を超えた広域的な地域活動への助成等を通じ、地域間連携の強化を図るなど、市町における自主的･主体的な取組を支援していきます。

○地域の宝である文化財の保護

問 **様々な形で地域に保存されている文化財は、修繕の費用や保存の担い手の確保などに大きな課題を抱えており、消滅の危機に陥っているものも少なくないと考えます。**

県には、「とちぎの文化財を地域で支えるしくみづくり事業※2」を積極的にＰＲし、文化財の保護につなげてもらいたいと考えていますが、今後どのように取り組んでいく考えか伺います。

答 【生活文化スポーツ部長】クラウドファンディング等の新たな資金調達方法の導入事例から得られた知見を広く情報提供し、更なる理解促進を図りながら、個々の文化財の特性に応じてきめ細かに支援するとともに、より多くの文化財所有者等が持続可能な文化財保護に取り組めるよう本事業の周知を行っていきます。

このほか

防災庁等政府関係機関の誘致、自転車と歩行者の安全確保に向けてなど

一般質問 (6/8)



あおき　かつあき
青木　克明
（とちぎ自民党）
[矢板市]

○県立高校の魅力向上

問 **県は、国の基金を活用して県立高校の教育改革と環境整備を進めようとしていますが、拠点校だけでなく全ての県立高校が選ばれる学校へ進化することが重要です。**

拠点校の成果をどのように県全体へ波及させ、県立高校の魅力向上にどのように取り組むか伺います。

答 【教育長】県立高校の魅力向上は喫緊の課題であり、高校教育改革を先導する拠点校の創設に取り組んでいきます。

拠点校では、探究的な学びや海外交流、ＡＩ・デジタル技術の活用などを進めて学校の魅力化を図るとともに、その成果を検証して見える化し、産学官とも連携を図りながら県内各校へ波及させていきます。

○未来志向のレジリエンス

問 **国は、グリーンインフラ推進戦略2030※3を策定しましたが、県もこれまでのハード整備と多様な自然の力を組み合わせることで、栃木らしいレジリエンスを高められると考えます。**

安全・安心で持続可能な地域であり続けるため、どのように未来志向のレジリエンスを高め、グリーンインフラ導入に取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】森林整備や田んぼダムなどグリーンインフラを取り入れた流域治水に取り組んでおり、新とちぎ未来創造プランにおいてもグリーンインフラの活用等を踏まえた社会資本整備を掲げたところです。

今後も、森林･農地･河川など本県の自然環境を最大限に生かすグリーンインフラを推進し、安全･安心で持続可能な地域社会の実現を目指していきます。

このほか

安定した自主財源の確保～成長分野への投資と企業誘致～、ひきこもり支援など

一般質問 (6/8)



ゆざわ　ひでゆき
湯澤　英之
（夢と希望）
[鹿沼市]

○保護司確保のための取組と県民理解の促進

問 **安全・安心な地域の実現には保護司の役割が重要ですが、県は、県内の現状をどのように捉え、担い手確保、それに向けた保護司活動に対する県民理解の促進をどのように進めていくのか伺います。**

答 【生活文化スポーツ部長】保護司は、担い手の不足とともに、高齢化が進んでいる状況にありますが、県も、退職を控えた職員向けや県シルバー大学校での講座で業務内容を周知して国の人材確保の取組に協力するとともに、「社会を明るくする運動※4」に呼応し、県ホームページやパネル展示、中高生に対する出前授業などを通じ、保護司の確保と県民への理解促進に向けて取り組んでいきます。

○小規模な森林所有形態を踏まえた循環型林業の推進

問 **民有人工林における小規模な森林所有者の面積合計は全体の約３割でありますが、人数では全体の約９割を占め、所有者が多数に分かれているほか、不在村森林※5が増加し、自ら施業や経営を行うことが困難な森林が増加していることが、森林資源の循環利用を推進していく上での課題であるところ、循環型林業をどのように推進していくのか伺います。**

答 【環境森林部長】所有者不明の森林や不在村森林の増加が障壁となっているため、境界等の情報整理を進め、集約化を効率的に進める基盤づくりとして、航空レーザ計測による地形や森林資源情報等のデジタル化に取り組む等、今後とも、施業の集約化を進め、生産性の高い循環型林業の推進に取り組んでいきます。

このほか

難聴対策の推進、一級河川思川の河川整備など

一般質問 (6/8)



よこまつ　もりと
横松　盛人
（とちぎ自民党）
[宇都宮市･上三川町]

○ベトナム・ハノイ工科大学との覚書締結を踏まえた外国人材確保の推進

問 **県は、ベトナム･ハノイ工科大学との覚書締結をどのように評価し、県内企業の人材確保にどのように生かしていくのか、また、企業の実態やニーズを踏まえた外国人材の受入支援をどのように進めていくのか伺います。**

答 【知事】覚書に基づき、現地での日本語教育や合同企業説明会、県内企業におけるインターンシップを実施し、高度外国人材の円滑な採用及び定着を図るとともに、企業の実態やニーズを踏まえ、企業向け研修メニューを拡充し、とちぎ外国人材受入支援センターのより一層の周知を図り、県内企業による活用を促進していきます。

○栃木県こどもの心の危機対応支援チーム事業の強化

問 **県は、栃木県こどもの心の危機対応支援チーム事業の強化に向けどのように取り組んでいくのか伺います。**

答 【保健福祉部長】先月からこどもの心の危機対応支援チームを設置し、自殺リスクの高い児童生徒への対応に課題を抱える学校等に対して専門家を派遣し、自殺リスクの見極めや支援方針に関する助言等を開始したところです。

同チームの更なる周知を図りながら教育現場の相談対応力を高め、悩み等を抱える児童生徒が適切な支援を受けられる環境を整備するとともに、対応した事例の検証等を行い、支援の実効性を高めていきます。

今後とも、関係機関と連携･協働しながら、こどもの心の危機に全力で対応していきます。

このほか

家族の多様化に応じた子育て家庭への支援、狩猟者育成及び獣害対策に資する射撃環境の確保など

用語解説

※1 **同行避難**：ペットと避難場所まで一緒に避難することをいい、同じ避難所でペットと人が過ごす同伴避難と区別される。

※2 **とちぎの文化財を地域で支えるしくみづくり事業**：文化財所有者が、文化財を修理等により健全な状態に回復し、地域資源･観光資源として活用する取組を支援するとともに、取組に必要な資金の新たな調達方法（クラウドファンディング等）の普及･促進を図る事業

※3 **グリーンインフラ推進戦略2030**：2030年までにグリーンインフラ（自然の多様な機能を活用した社会資本）の活用が当たり前の社会の実現を図り、2050年に向けて自然共生社会を目指す国の戦略

※4 **社会を明るくする運動**：法務省が主唱する犯罪や非行のない安全で安心な社会を目指す、地域に根ざした国民運動

※5 **不在村森林**：森林のある市町村に森林所有者が住んでいないこと。

注 （）は所属会派／（とちぎ自民党）とちぎ自民党議員会、（民主市民）民主市民クラブ、（県民）県民クラブ、（夢と希望）夢と希望あふれる栃木を創る会、（共産党）日本共産党栃木県議団／会派名は質問日時点／[ ]は選挙区

《質疑・質問日 令和8年6月4日、8日、9日》

※スマートフォン等で二次元コードを読み取ると、質問の映像をご覧いただけます。

一般質問 (6/8)



大木 英憲（おおき ひでのり）
（とちぎ自民党）
[小山市・野木町]

○小山市南部の思川における治水対策

問 **近年、気候変動の影響により全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化していますが、思川の治水対策として、近年の気候変動を踏まえた河川整備計画の見直しをどのように進めていくのか伺います。**

答 【県土整備部長】国の思川を含む利根川水系の河川整備基本方針等の見直しを受け、県では、思川圏域河川整備計画の見直しに向け、これまでに洪水流量の解析を行ったところであり、今年度は、河道拡幅や洪水調節施設など、必要な整備内容を検討することとしています。

今後とも、国や市町等の関係機関と緊密に連携し、気候変動の影響を考慮した河川整備計画の見直しに向けた検討を進めていきます。

○小山外環状線の整備

問 **市中心部における交通混雑の緩和や、周辺地域間の交通利便性、災害時におけるリダンダンシー※6の確保といった観点からも、栗宮アンダーから新4号国道までの延伸、いわゆる小山外環状線の整備が不可欠であるため、今後の整備の見通しについて伺います。**

答 【県土整備部長】当該区間の整備により、新4号国道や国道50号と一体となった広域道路ネットワークが形成されることから、県南地域はもとより、県全域の発展に寄与するものと認識しております。

そのため、市と県で構成する道路網研究会において、議論を重ね、本年3月に本区間を県が事業主体となって整備を進めることとし、今年度はルートを検討するための道路概略設計を実施する予定です。

このほか

新とちぎ未来創造プランにおける産業成長戦略
～新たな成長産業の誘致及び産業団地整備の推進～
～若者・女性の雇用・産業創出に向けた取組～など

一般質問 (6/9)



杉田 光（すぎた ひかる）
（とちぎ自民党）
[足利市]

○企業版ふるさと納税制度の更なる推進

問 **限られた財源で複雑・多様化する行政課題への対応が求められている中、企業の社会貢献を目に見える形にできる企業版ふるさと納税の有する意義は大きいと考えます。**

企業版ふるさと納税制度※7の更なる推進に向けて、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【総合政策部長】企業版ふるさと納税は、重要な財源の一つであり、企業とのパートナーシップを構築する上でも意義があります。

多くの企業に本県の取組を応援してもらうため、企業の関心の動向を十分把握するとともに、全庁を挙げて、寄附の活用内容等をＰＲしていきます。

○重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化

問 **障害者の経済的な負担や手続の軽減を図りながら福祉サービスを行うためには、市町の財政負担を考慮した県と市町の連携が不可欠であり、既に現物給付を導入している市からは、財政負担が大きな課題となっていると聞きます。**

そこで、重度心身障害者医療費助成制度※8の現物給付化について、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】補助率の見直しを含めた助成方式の在り方について、県及び市町双方の財政負担に及ぼす影響等を十分に精査した上で、市町の意見も伺いながら、検討を進めます。

また、国に対して国民健康保険の国庫負担減額調整措置を廃止するよう、全国知事会等を通じ要望していきます。

このほか

2027年国際園芸博覧会を契機とした誘客戦略、大規模災害時における支援物資物流体制の強化など

一般質問 (6/9)



野村 せつ子（のむら こ）
（共産党）
[宇都宮市・上三川町]

○原発再稼働への対応

問 **国はエネルギー政策を転換し、ほぼ全ての原発を再稼働させ、新増設まで進めようとしていますが、事故が起きれば福島第一原発事故のように甚大な被害を受けるおそれがあります。**

原発事故をどのように捉え、柏崎刈羽原発の再稼働や、東海第二原発の再稼働に向けた動きにどのように対応していくのか伺います。

答 【知事】原子力発電所の再稼働等については、エネルギー政策として、国が責任を持って判断すべきものです。

本県としては、不測の事態に備え、東京電力株式会社及び日本原子力発電株式会社と取り交わした覚書等に基づき情報収集を行うなど、引き続き、県民の安全・安心の確保に努めていきます。

○突風等被災住家への支援

問 **災害時の住家被害に対する見舞金や支援の制度には市町間でかなりの差異があり、また、県版被災者生活再建支援制度の支援対象は中規模半壊以上となっているため、2019年の豪雨災害以降は支援が行われていません。**

県内共通の支援があるべきと考えますが、県版被災者生活再建支援制度の適用基準及び支援対象を半壊以上に拡大する考えがないか伺います。

答 【知事】県版被災者生活再建支援制度は、国の制度にならい創設したもので、国の制度に合わせて支援対象を見直し、支援の充実に努めてきました。

適用基準及び支援対象の拡大は、市町にも財政負担が生じることから、国制度の動向や市町の意向を踏まえながら、慎重に検証すべきと考えています。

このほか

高齢者の健康と社会生活を支える加齢性難聴対策、女性の活躍を応援する賃上げ・処遇改善など

一般質問 (6/9)



神谷 幸伸（かみや ゆきのぶ）
（とちぎ自民党）
[鹿沼市]

○本県への移住の促進

問 **生活の利便性の良さなどの本県の魅力を一層PRするとともに、市町等と連携しながら、移住促進の取組を更に強化していく必要があると考えますが、今後どのように取り組んでいくのか伺います。**

答 【知事】今年度は、都内のふるさと回帰支援センターの相談窓口機能を拡充するほか、情報発信体制の強化を図るとともに、市町や企業・団体等と連携した出張相談会を開催するなど、ニーズに沿ったきめ細かな対応を行っていきます。

また、市町との連携を一層強化し、東京圏等における市町の認知度向上に向けた取組を支援するとともに、県内全市町が参画する移住相談会を開催するなど、オールとちぎで本県の魅力を発信していきます。

○ものづくり県、栃木の更なる発展

問 **新とちぎ未来創造プランに掲げる「共に創る　人も地域も輝く　“元気なとちぎ”」の実現に向けて、「とちぎ産業成長戦略2026-2030」に基づく施策を着実に推進し、ものづくり県、栃木の更なる発展に向けて取り組むべきと考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。**

答 【産業労働観光部長】今年度は、半導体、ロボット分野への参入を促進するワークショップや、宇宙ビジネスモデルの確立に向けた専門家による伴走支援等により、こうした産業を育成していきます。

さらに、企業や大学等が連携して付加価値等を創出するイノベーションエコシステム※9の形成や、脱炭素等の社会課題へ積極的に対応する企業の競争力や技術力の強化により、本県経済の持続的な発展につなげていきます。

このほか

文化財の保存・活用の推進、県民の安全安心のための重要犯罪捜査支援システム※10と防犯カメラの充実など

高校生の県議会訪問結果レポート

～県立宇都宮東高等学校の県議会本会議傍聴～

令和7(2025)年11月28日、栃木県立宇都宮東高等学校の公共の授業を選択する1年生約10名が栃木県議会を訪問し、本会議質疑・質問の傍聴を行いました。

これは、学校における主権者教育の一環として、県議会本会議を傍聴することで、地方の課題などを自分事として捉え、主体的に考え、判断し、行動していくための思考力や判断力などを育成する機会とすることを目的として企画・実施されました。



▲本会議傍聴の様子

生徒さんたちは、メモを取りながら、本会議質疑・質問の様子を真剣に聞いていました。

その後、全国都道府県議会議長会などの3議長会が人気漫画「葬送のフリーレン」とコラボレーションして作成したリーフレットを用いて、議会事務局から県議会の役割などを説明しました。



▲座学の様子

～議会事務局が学校を訪問し、生徒さんに感想を伺いました～

《本会議傍聴の感想》

- 栃木県をより良くしようという議員の熱意を肌で感じ、非常に良い経験になりました。
- 議会傍聴は、普段できないような体験で楽しかったです。
- ニュースなどで見て、私自身興味のあったものが質問として取り上げられており、新たな学びとなりました。
- 普段はあまり県議会を身近に感じないため、今回の体験を通して、考えることが多く、とても有意義な時間になりました。
- 実際に自分で地方自治に触れられる機会はあまりないので、とても貴重な経験になりました。
- 社会科の授業で学んだことが現実味を帯びて、楽しかったです。



▲生徒さんに感想を伺った様子

県議会では、高校生や大学生の皆さんの生活にも関係することを議論・検討しているまる！本会議傍聴は貴重な経験になると思うので、ぜひ来てほしいまる♪



総務省「主権者教育だより」(令和8年3月号)に掲載されました。

用語解説

※6 **リダンダンシー**：災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないよう、交通ネットワークやライフライン施設を多重化するなどあらかじめ予備の手段が用意されているような性質を示すもの

※7 **企業版ふるさと納税制度**：寄附を通じて地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組み

※8 **重度心身障害者医療費助成制度**：一定の障害がある方の健康を確保するため、医療費の自己負担分を助成する制度

※9 **イノベーションエコシステム**：産官学にわたる多様な組織が相互に協働・競争を続け、イノベーションを誘発するように働くシステム

※10 **重要犯罪捜査支援システム**：県内の主要幹線道路に路上装置を整備し、データを警察本部の中央装置に送信、手配車両情報と照合することにより、盗難車両や行方不明者、重要犯罪の捜査に役立てるためのシステム

常任委員会の主な活動　6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に関する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第414回通常会議において所管常任委員会に付託された議案**(令和８年度一般会計補正予算(第１号・第２号)等)**について、6月11日と22日に審査及び採決が行われました。また、6月から7月にかけて県内調査を行いました。

●県政経営委員会

付託議案：栃木県地方活力向上地域における県税の課税免除及び不均一課税に関する条例及び栃木県県税条例の一部改正について等　３件

報告事項：中東情勢に係る県民生活等への影響について等　２件

6月26日には、県南エリア移住促進コンシェルジュやとちぎ南西消防指令センターの取組を調査するため、現地視察を実施しました。



▲県南エリア移住促進コンシェルジュの説明を受ける委員

●生活保健福祉委員会

付託議案：一時保護委託者の登録等に関する基準を定める条例の制定について等　２件

報告事項：第12次栃木県交通安全計画の決定について

6月30日には、アークタウン宇都宮や足利赤十字病院の取組を調査するため、現地視察を実施しました。



▲足利赤十字病院を視察する委員

●農林環境委員会

付託議案：市町村が負担する金額について等　３件

報告事項：令和７(2025)年度栃木県農産物の輸出実績について等　９件

7月3日には、スマート農業等に取り組む岩城農場や那須町森林組合の取組等を調査するため、現地視察を実施しました。



▲岩城農場を視察する委員

●経済企業委員会

付託議案：令和８年度栃木県一般会計補正予算(第２号)中所管関係予算

報告事項：高度外国人材受入トータルサポート事業について等　２件

7月9日には、みぶ中泉産業団地、宇宙機の研究開発を行う帝京大学及び産業用ロボットの活用による工場の自動化等を支援する新エフエイコム株式会社の取組を調査するため、現地視察を実施しました。



▲新エフエイコム株式会社を視察する委員

●県土整備委員会

付託議案：市町村が負担する金額について等　６件

報告事項：「とちぎの道 開通宣言2026」、「とちぎの河川・砂防関係施設 完了宣言2026」について

7月に、県内市町からの道路や河川の整備要望箇所の状況を把握するため、各市町との意見交換や現地視察を実施しました。



▲国道408号宇都宮高根沢バイパス建設工事現場を視察する委員

●文教警察委員会

報告事項：「匿名・流動型犯罪グループ総合対策」について等　２件

7月16日には、栃木県警警備第二課航空隊や、栃木県立とちぎ学びの夢学園の取組を調査するため、現地視察を実施しました。



▲とちぎ学びの夢学園を視察する委員

議会あり方検討会

〇4月24日

県民により身近で開かれた県議会に向けた取組及び議員定数等について事務局から説明を受け、意見交換を行いました。

〇6月12日

議員定数等に係る会派の意見を整理し、あり方検討会報告書の骨子案について検討しました。



▲議会あり方検討会(6月12日)の様子

県議会トピックス

〇関東甲信越１都９県議会議長会

5月11日と12日に、関東甲信越１都９県議会議長会が東京都において開催され、関谷議長と白石副議長が出席しました。

本県が提出したクマ被害対策に関する議題等を採択したほか、現地視察を実施しました。



▲本県が提出した議題を説明する関谷暢之議長

〇県民の日記念イベント

県民の日記念イベントが6月13日に県庁で開催されました。

県議会議事堂ではオープニングセレモニー、ステージイベントが行われ、来場者は、県警察音楽隊による演奏やとちキャラーズステージなどの催しを楽しんでいました。



▲オープニングセレモニーであいさつする関谷暢之議長

また、今回の県民の日記念イベントからは県議会として初めて県庁舎本館15階展望ロビーに展示ブースを出展し、来場者に県議会について知ってもらう機会となるよう情報発信を行いました。



▲県庁舎15階展示ブース(左から関谷暢之議長、白石資隆副議長)

U-18 高校生世代のギモン？ もっとなるほど！県議会

あなたがもっと知りたい県議会や議員のことなどについて、議長や副議長がお答えするコーナーです。



関谷暢之議長

Q　とちぎメディア芸術祭(仮称)とは、具体的にどのようなことを行うのですか。(17歳・上三川町)

A　県では、県民の皆さんが身近に芸術を発表・鑑賞できる作品展として、「とちぎメディア芸術祭」(仮称)を創設します。

現在、令和9年度の開催に向けて準備を進めており、漫画・イラスト、動画、空間芸術などのメディアアートの３部門からの応募を想定し、ウェブ上及び実会場での展覧会の実施などを検討しています。

今後も、魅力ある栃木県の実現に向け、メディア芸術の振興に積極的に取り組んでいきます。

Q　栃木県は全国でもプロスポーツチームが多くありますが、今後どのように地域の活性化につなげていきますか。(16歳・宇都宮市)



白石資隆副議長

A　県では、各チームと企業・団体等のマッチングを行い、新たな商品・サービスの開発や地域課題の解決を促進しています。

また、各チームと連携し、試合観戦に訪れたファンに県内観光地等への周遊を促すことで、地域の賑わいづくりに取り組むこととしています。

今後も、各チームとの連携を一層強化し、スポーツを活用した地域活性化を更に推進していきます。

高校生世代※からの質問を募集します！

※栃木県にお住まい又は通学しているおおむね16歳から18歳までの方

応募方法など詳細は下の二次元コードからご確認ください。

たくさんの質問をお待ちしています！



県議会からのお知らせ

県議会議員のことをもっと知りたいあなたへ

～県議会議員を紹介する電子誌面を更新しました！～

とちぎの未来のために日々活動している県議会議員について、もっと知ってみませんか？県ホームページで公開しています。

↑電子誌面はこちら



県庁舎本館15階企画展示ギャラリー展示のお知らせ

県議会をテーマとした企画展示を9月17日(木)から10月1日(木)までの間、15階企画展示ギャラリーで行います。

議会活動などを分かりやすく紹介し、県議会への理解を深めていただける内容となっておりますので、ぜひお立ち寄りください。



次回通常会議の日程

９月	17日(木)	本会議(開議、議案上程)
	24日(木)、28日(月)、29日(火)	本会議(質疑・質問)
10月	1日(木)	常任委員会
	2日(金)	議会あり方検討会
	6日(火)	予算特別委員会(総括質疑)
	7日(水)	常任委員会
	13日(火)	本会議(採決、散会)

※午前10時開始予定。日程は変更となる場合があります。詳細は、県ホームページでご覧いただけます。

※傍聴については、本会議は先着順、委員会は開会15分前までに受付を行い、定員を超えた場合は抽選となります。

※傍聴については、オンライン受付も行っています。ぜひご活用ください。

目が不自由な方のために「県議会とちぎ」点字版、テープ版及びデイジー版を発行しています。ご希望の方は、県議会事務局政策調査課(TEL028-623-3772)までご連絡ください。